

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

石川県 内灘町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	自治体職員	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	1	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	平成36年3月31日 内灘町風力発電所	平成36年2月16日 内灘町風力発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
北陸電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H24	H25	H26	H27	H28
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	2,531	1,843	1,717	1,124	2,453
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	2,531	1,843	1,717	1,124	2,453

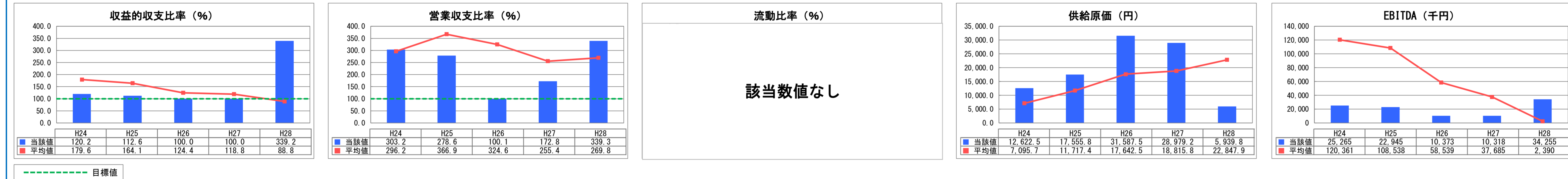
	F I T以外	F I T	合計
年間電灯電力量収入（千円）	-	44,778	44,778

剰余金の用途について（具体的な使用実績事業を記入してください）  
 電気事業により生じた利益は、将来の施設更新等に充てるための新エネルギー事業財政調整基金に積み立てることを基本としている。  
 H28年度は11千円の剰余金が発生し、全額を上記基金に積み立てている。

分析欄

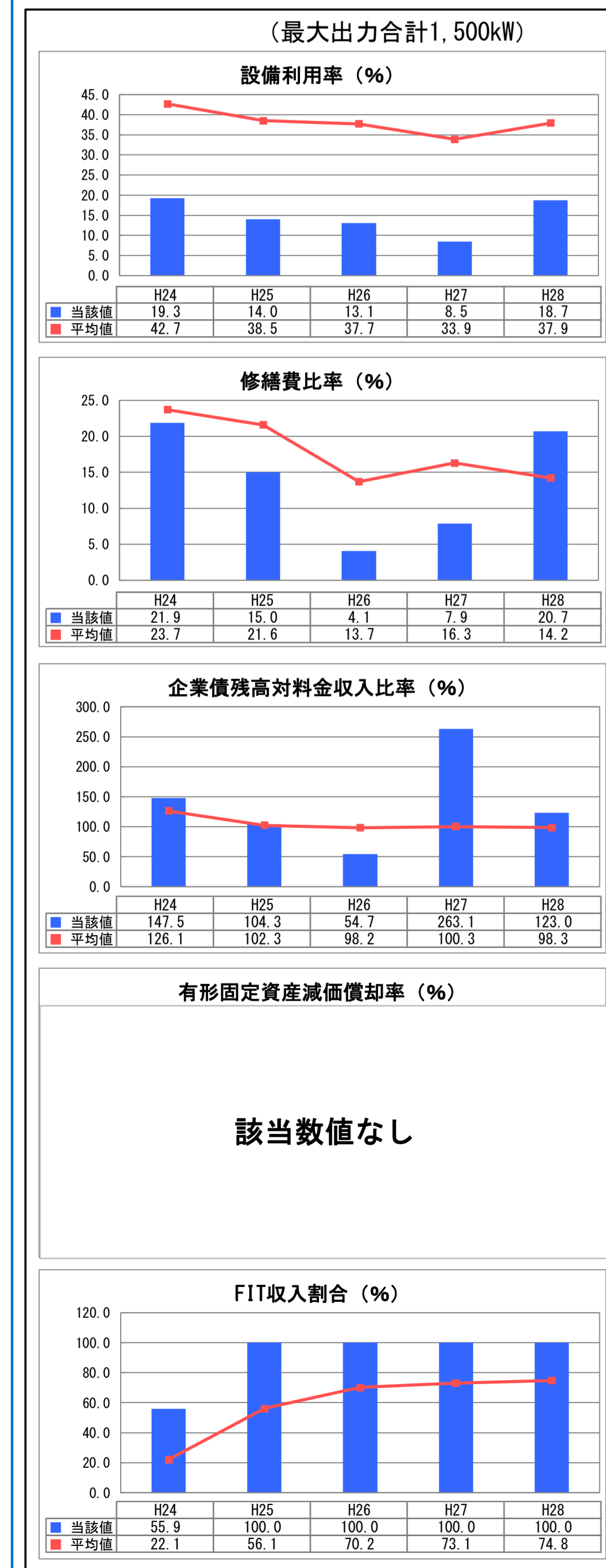
1. 経営の状況について  
 収益的収支比率及び営業収支比率については、H28年度はともに330%超と大きく増加した。これは、設備利用率の増が示すように、年間発電電力量の増加に伴う売電収入の増、及び企業債償還額の減が主な要因である。両比率については近5年は100%以上となっているものの、設備の更新に向けた財源の確保や、更なる費用削減等、今後も健全経営に向けた取組が必要である。  
 供給原価については先に述べた要因によりH28年度は大きく減少し、全国平均値を下回った。また、EBITDAが経年比較して上昇していることから、安定した状態であると考察されるが、今後の設備更新等も考慮した適正な管理による維持管理費の削減など、経営改善に向けた取組が必要である。

## 1. 経営の状況

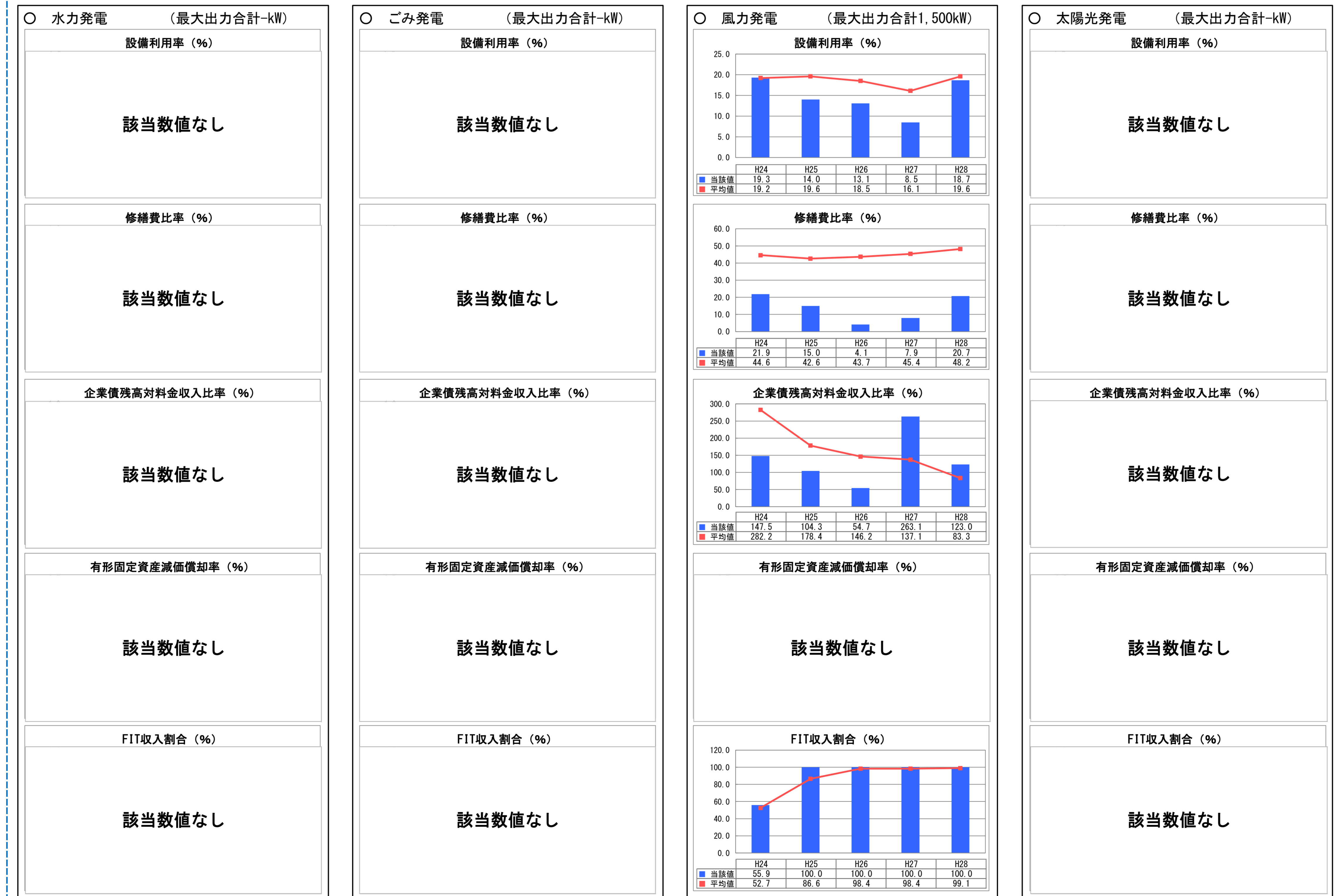


## 2. 経営のリスク

### ●施設全体



### ●発電型式別



### 2. 経営のリスクについて

設備利用率が団体平均値より低く、修繕費比率が高いことから、施設の効率的な運用が行えていないと考察されるため、計画的な維持管理方法等の見直しが必要である。  
 企業債残高対料金収入比率については、H27年度の企業債借入れや、故障停止による料金収入の減少が影響し、団体平均値と比較して高い水準になっているため、将来の償還財源の確保に向けた経営改善が必要である。  
 FIT収入割合が100%であるため、固定価格買取制度の調達期間終了後、収入が減少するリスクが高いため、そのことを踏まえた取組が必要である。

### 全体総括

現状においては、経営の健全性及び効率性は確保されているが、FITの調達期間が終了すると収入の減少が見込まれる。今後、策定を予定（H32年度）している経営戦略のなかでも更新費用の財源をどう賄うかが検討課題である。  
 今後の風力発電事業を取り巻く環境を踏まえ、施設の管理を適正に行い、更なる経営の安定化を図る。

※平成24年度から平成28年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成28年度の団体数を基に平均値を算出しています。